

標 題 : The effects of fish oil, olive oil, oleic acid and linoleic acid
on colorectal neoplastic processes
結直腸の腫瘍過程に対する魚油、オリーブ油、オレイン酸およびリノール酸の影響

著 者 : X. Llor, et al. (スペイン バルセロナ自治大学 Hospital Universitari Germans
Trias i Pujol 消化器病学科)

掲 載 誌 : Clin. Nutr. (2003) 22(1): 71-79

要 旨 :

背景と目的 : 複数の栄養素が結直腸がん増殖で重要な役割を演じており、脂肪が最大の決定要因となる可能性がある。

n-3系脂肪酸の EPA と DHA およびその主な食事源の魚油が重要な抗腫瘍効果を発揮する可能性があるが、オリーブ油およびその主な脂肪酸、オレイン酸とリノール酸の影響についてはずっと少ししか知られていない。

これらの研究の目的は、結直腸の発がんに関与する重要な過程におけるこれらの栄養素の役割を評価することである。

方 法 : Caco-2 および HT-29 結直腸がん細胞に種々の脂肪を補給して、アポトーシス誘導、細胞増殖、および分化におけるその役割を研究した。
COX-2 および Bcl-2 の発現も評価した。

結 果 : 魚油またはオリーブ油の補給は、アポトーシス誘導および細胞分化をもたらす。
後者の影響は、オレイン酸およびリノール酸によっても引き起こされた。
魚油は、細胞増殖を大幅に減少させた。
魚油およびオリーブ油の補給は、COX-2 の早いダウンレギュレーションをもたらし、Bcl-2 発現の低下が続いた。

結 論 : 魚油およびオリーブ油は、結直腸がん増殖の原因となる重要な過程に影響できる。
COX-2 および Bcl-2 はこれらの影響の一部の重要なメディエーターの可能性はある。

著作権 2003 年 Elsevier Science 社 著作権所有

キーワード : 魚油、オリーブ油、オレイン酸、リノール酸、結直腸がん
